

ち い き 地域のつながりを活かした取組

人と電気のつながりによる都市と農山漁村の交流

とうきょうとせたがやく ぐんまけんかわばむら (東京都世田谷区、群馬県川場村)

とうきょうとせたがやく ぐんまけんかわばむら せたがやく
東京都世田谷区と群馬県川場村の交流は、世田谷区が1981年に区民の第二のふるさとづくりを目的として川場村と協定を結んだことをきっかけにスタートしました。以来、せたがやく かわばむら はってん せたがやく
世田谷区と川場村の交流を発展させるため、世田谷区の小学5年生を対象に、かわばむら ゆたかな自然の中で農作業や登山、村巡りを行う移動教室や、かわばむら かんきょう
川場村の自然環境を区民・村民が協力して守り育てる活動などを行ってきました。

こうしたつながりがあり、自然エネルギーを介した新たな交流の発展として、2016年2月に自然エネルギー活用による発電に関する取り決めを結びました。かわばむら ちいき
川場村で新たに地域の森林資源を活用した木質バイオマス発電を立ち上げ、かわばむら
川場村で発電した電気を世田谷区民が購入するという仕組みをつくりました。ほとんどが住宅地であり、大規模な自然エネルギーを生み出すことが難しい世田谷区では、かわばむら
川場村との交流や自然エネルギーを通じたちいき
地域どうしの協力の仕組みが、他の市区町村にも広がるように取組を進めています。

● 林業体験の様子



● 農業体験の様子



● かわばむら 川場村にある発電所の見学ツアー



しりょう とうきょうとせたがやく ぐんまけんかわばむら
資料：東京都世田谷区、群馬県川場村